

○議長（森 弘秋君） 7番 前原英石君。

○7番（前原英石君） 前原でございます。よろしくお願いをいたします。

私が9月定例議会において通告いたしました質問につきましては、インフルエンザ予防接種費助成についてと、新型コロナウイルス感染拡大防止対策と感染拡大に対する支援についての2点でございます。

インフルエンザ予防接種費助成については、既に9月3日の新聞で報道され、それをご覧になった方も多いたと思いますが、報道前に通告をしておりましたので、確認の意味も含め質問をいたしますが、答弁においては、報道よりもさらに詳しく、分かりやすくご説明いただきたいと思います。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止対策と感染拡大に対する支援についてですが、3月・6月議会の質問でも、新型コロナウイルス感染についての質問を行ってききましたが、いまだ感染は続いております。そこで、今回もそれに関する質問を行います。よろしくお願いをいたします。

それでは、これより質問に入ります。

まず、インフルエンザ予防接種費助成についての質問です。

富山県は、県内のコロナウイルス感染症の状況を踏まえ、秋から冬に向けインフルエンザが流行した場合、その症状から新型コロナ感染症とインフルエンザの区別がしにくいことから、医療機関の負担や子育て世代の経済的・精神的負担を軽減することを目的とし、未就学児童及び小学生の予防接種費3,000円を助成する制度が公表されております。

また、富山市でもインフルエンザ予防接種費を小学6年生以下に助成する県の制度に上乗せして中学生まで拡大する制度と、それに加え、65歳以上の高齢者は1,400円で摂取できる助成をすとしていますが、富山県や富山市の対応を踏まえ、村単で制度を見直す予定があるのかお聞きします。

また、政府は、今冬のインフルエンザワクチン接種は、重症化のおそれがある高齢者や持病がある人、子ども等を優先して実施する優先接種を実施していくと報道していることから、ワクチン接種も例年より早く始まることが予測されています。

また、舟橋村では、今年から高齢者のワクチン接種は、中新川郡の医療機関に加え、富山市の指定医療機関でも受診が可能となることから、受診医療機関や接種費用の助成の受け方など、住民への十分な周知が必要であると考えますが、それに対する対応はど

のようになっているのかお聞きします。

次に、新型コロナウイルス感染拡大防止対策と感染拡大に対する支援についての質問に入ります。

夏場に入り、一時は感染拡大が収まってきたように見えました新型コロナ感染症ですが、最近になり再び全国的に広がりを見せてきています。感染が拡大してきた場合、第2波・第3波に備え、村でどのような対策を検討されているのか。

また、本年度議会で補正予算として計上された事業については速やかに執行され、対策を講じられていると思いますが、事業の進捗状況も含め、ご説明お願いいたします。

村では、新型コロナウイルスに対する村民への支援対策として、4月には先決で特別定額給付金事業補助金等を活用した支援が行われ、住民からは対応の早さに喜びの声が聞かれました。

また、6月には水道料金の基本料金補助事業、感染拡大防止のための備品、消耗品の購入、テレワーク・リモートワークでの環境整備などを行い、感染拡大対策に努めてきておられます。

7月の臨時議会では、当初予想されていた金額よりも、それをはるかに上回る1億円近い新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が交付され、それを活用し、主に保育所の増築及び育児休業延長補助事業を行ってきています。

これらの事業で7割以上の交付金が計上されましたが、今後、低所得者、母子・父子家庭、障害者、高齢者世帯などにも幅広く助成を行っていただきたいと思いますが、それに対する考えはお持ちでしょうか。また、感染拡大防止のため、今後の基金の活用も含め、村としての考えをお聞きします。

以上で私の質問を終わります。

○議長（森 弘秋君） 生活環境課長 吉田昭博君。

○生活環境課長（吉田昭博君） 7番前原議員のインフルエンザ予防接種の助成についてのご質問にお答えいたします。

議員ご指摘のとおり、新型コロナウイルスの感染症とインフルエンザの症状は、その区分が困難であることから、医療機関の人的負担増や子育て世代並びに高齢者世帯の経済的・精神的負担の軽減を図ることを目的に、先般、インフルエンザ予防接種費用に係る富山県の補助制度が公表されました。加えて、県内の複数市町におきましても、独自の補助制度が発表されております。

まず、本村の現在の助成制度についてであります。予防接種費用の補助といたしまして、1歳から中学生までは2,000円、65歳以上の高齢者には1,400円で接種できる助成を実施しております。

今般、新型コロナウイルス感染症拡大を踏まえ、村では、当該感染症と同時期に流行のおそれがあるインフルエンザの感染拡大を防ぐことを目的に、この予防接種助成範囲を今年度に限り拡大いたします。

その内容では、生後6か月幼児から高校生まで並びに65歳以上の高齢者の予防接種費用を全額補助いたします。

具体的に申し上げますと、高齢者（65歳以上の者、身体障害者手帳1級を保持した60から64歳の心臓や腎臓、呼吸器等に重い病気のある者やヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能が低下している者）につきましては、接種期間を10月1日から1月31日、接種費用は1回分を無料といたします。接種医療機関は中新川郡医師会と富山市医師会といたします。

次に、生後6か月幼児から小学校6年生までの児童につきましては、接種期間は10月1日から1月31日まで、接種費用は2回分無料です。富山県の助成金3,000円を上回った接種費用は、償還払いにより村が負担いたします。接種医療機関は富山県の指定医療機関となります。

次に、中学生から高校3年生相当世代につきましては、接種期間は10月1日から1月31日。接種費用は1回分無料。接種医療機関は中新川郡医師会。ただし、疾病などにより、かかりつけ医での接種が妥当な場合は償還払いの対応も可能といたします。

以上が今年度のインフルエンザ予防接種の助成内容であります。年齢によって予防接種受診機関が異なるなど複雑化しておりますので、十分な周知が必要になると認識いたしております。

周知方法といたしましては、高齢者と中高生には、9月末に接種券を個別郵送します。生後6か月から小学生には、償還払い申請用紙を9月末に個別郵送いたします。また、全体的な周知として広報10月号、ホームページ、アプリの活用を行うと同時に、こども園や小中学校を通じてのお知らせの配布などで周知徹底に努めてまいりたいことを申し上げます。

○議長（森 弘秋君） 村長 金森勝雄君。

○村長（金森勝雄君） 7番前原議員の新型コロナウイルス感染拡大に対する支援につい

てのご質問にお答えをいたします。

まず、これまでの支援策では、住民基本台帳に記録されております全ての者に一律10万円を給付する国の特別定額給付金事業に加え、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用いたしまして、本村単独事業として公共施設や社会福祉施設などにマスクや消毒液を提供いたします必要物品供給事業。公共施設に消毒器や空間除菌脱臭機等を配置する公共的空間安全安心確保事業。本村の全世帯に対して簡易水道使用料の基本料金3か月分を補助する簡易水道基本料金補助事業。高校生以下の者に1万円を支給する子育て応援給付金支給事業。児童扶養手当の受給者に10万円を支給するひとり親家庭給付金支給事業。こども園等自粛要請解除後に児童の主食費並びに副食費の3か月分を補助する子育て支援対策事業。外出自粛要請に伴うフレイル予防を目的に、75歳以上の高齢者の方が村内飲食店の販売メニューから希望する物を選び、それを福祉関係者が配達を行い、合わせて見守りをする高齢者見守り事業等の事業を実施してまいりました。

その進捗状況におきましては、本事業の趣旨に鑑みまして、スピード感を持った対応に努めておりますので、ほとんどの事業は完了しております。

次に、今後の生活支援についてであります。

ご指摘のありましたとおり、新型コロナウイルス感染者は県内でも増加傾向にありますが、重症化患者数は以前に比べ減少するなど日々状況が変化しておりますので、現時点で具体的な対応を申し上げることは差し控えさせていただきたいと思っております。

しかしながら、村民の生活環境に大きな影響を与える事案等から支援が必要と判断した場合におきましては、緊急性の度合いを考慮いたしまして、基金の取崩しをも視野に生活支援事業を実施してまいりたいと思っております。

今後とも国・県内の状況を注視いたしまして、引き続き緩むことなく感染症対策に努めてまいりますことを申し上げまして、答弁とさせていただきます。